

4 . 現況の地下水分析

解析より得られた地下水流の現況と変化要因について以下に述べる。

解析対象地域の地下水流は南北方向への流下を基本とした状態であるが、東西端部に近づくにつれて、地形の影響を受け、西 東、東 西の方向の流れとなっている。

秋篠川は表面の地形が低くなっている部分であり、地表の水が集中してくる状況にある。

国道24号付近は、地中の地層形状の影響等もあり、地下水流の谷部となっており、ここでの地下水流の流下方向は主に南北になっている。

